

# 観光復興の狼煙あげる

全旅連青年部(全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会青年部、1100部員)は4月13日、東京・永田町の全国町村会館で2022年度総会を開いた。また、翌日は自民党国会議員に対し、コロナ禍対応で継続的な支援を求める150人規模の陳情活動を行った。昨年就任し任期2年の折り返しにあたる総会で、星永重青年部長(福島県会津湯上温泉・藤龍館)は「コロナ禍の厳しい状況のなか、オンラインではなく、もっと皆さんと会えました。この1年、しっかりと団結して各地域で頑張ってきた賜物です」と労いと感謝の気持ちを述べた。

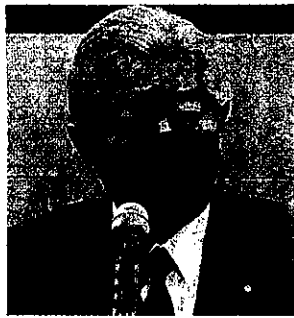
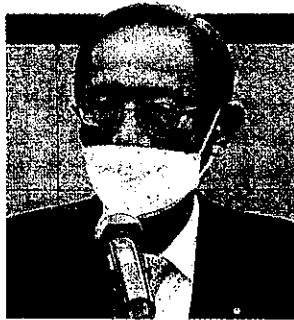
(4面に関連記事)



星部長のスローガン「観光を日本の基幹産業に」を掲げて開催された22年度総会

## 全旅連青年部22年度総会

今期、星部長はコロナ禍への対応と同時に、「Keep Try ing」を掲げ活動している活動スローガンとして、「観光を日本の基幹産業に5つの方針として▽基



自民党・観光連の細田会長①と岩屋幹事長

## 宿の日(8月10日)に各地で花火

幹産業として日本経済をけん引する政策提言▽自立した組織体制の強化▽流通販路における多様性の拡充とマッチングの提案▽雇用維持をはじめとする宿泊4団体、他業種との連携強化と事業展開の「宿の日」に花火業界と協力して全国各地で花火を打ち上げる計画を紹介。「多くの人の心を元気にするイベントにした気になります。できる限り多くの地域で狼煙を上げたい」と参加を呼びかけた。

また、コロナ禍で2021年は延期した「宿日」を、23年2月に東京ビッグサイトで開催することも紹介した。

「全国の旅館ホテルの若旦那、若女将がプロデュースする宿と旅の博覧

補助金の創設と議連と政府一体で様々な策を講じてきましたが、この2年で宿泊事業者の債務が膨らんでいることは承知しています。この重荷は経営責任ではなくコロナ禍が要因です。膨大な債務についての対応にも知恵を絞りたい」と観光産業が置かれている状況に理解を示した。

岩屋幹事長は「GoToトラベルとインバウンドを1日も早く再開し、成長産業の観光を再生させていきたい」と思っています。安心安全、多様性、気候変動、世界平和にきちんと向き合おう」と呼びかけた。

会を一般消費者を対象に実施します。こうした取り組みも含め、コロナ禍からの経済の復興をけん引し、日本の観光を基幹産業に押し上げたい」と意気込んだ。

総会には来賓として自民党観光産業議員連盟の幹部5人が出席した。細田博之会長は「議連メンバーとして37年間活動していますが、今が一番大変な時代と認識しています。雇用金特別措置、政府系特別融資、地域再生」と呼びかけた。